

2020ちばおもてなし隊チャレンジステージ

フォーラム「2018→2020 私たちのおもてなし」を開催



2月17日（土）の午後、千葉大学西千葉キャンパスで、フォーラム「2018→2020 私たちのおもてなし」を開催し、137の方に参加いただきました。このフォーラムには、「おもてなしボラコン！」にアイデアを提案した高校生をはじめ、ボランティア活動に関心のある中学生、高校生、大学生、社会人など多様な年代の方々や、県内の行政関係者、世界女子ソフトボール選手権大会組織委員会、ボランティア活動を行っている団体関係者、県内の経済団体関係者などにご参加いただきました。

フォーラムの第1部「2018年・2020年に向けた取り組み」では、今年の世界女子ソフトボール選手権大会や、2020年オリンピック・パラリンピックのボランティアについての情報を提供いただいたほか、プロジェクト結、学生団体おりがみ、昭和学院秀英高校、千葉県国際交流センター、みんなで応援！千葉県経済団体協議会の皆さんから、様々な取り組みについての紹介がありました。

第2部「おもてなしボラコン！のアイデア発表」では、おもてなしボラコン！に提案のアイデア発表を行いました。アイデアの提案数は県内10の高校から42の提案があり、フォーラムでは8校の生徒の皆さんが工夫を凝らしたアイデアの発表を行いました。

第3部「ワークショップ」は学生団体おりがみの皆さんの進行で、グループに分かれてアイデアについての意見交換や、参加した皆さんを含めての交流などを行いました。最後に、意見交換してブラッシュアップした参加者のアイデアをまとめて、会場の全員で「いいね！」と思ったアイデアに投票しました。これは「発想性、ユニーク性」、「実現性」、「おもてなし感（日本らしさ、外国人うけ、千葉へのこだわりなど）」を評価の基準として投票したもので、今回の企画のために、学生団体おりがみの皆さんが「スマホで投票」を開発してくれました。



投票の結果、「いいね！」を沢山もらった提案は次のとおりでした。

【第16回ソフトボール世界選手権大会の部】

(テーマ) 参加チーム の応援	(提案内容) チームごとにファンの方々で事前に集まり、チーム名、好きな選手の名前やマークなどを入れたメガホンやうちわなどを作成し配る。 (効果) 他国のチームの方との交換や海外から来た方に配り国境を越えて知ってもらおう。 目立つ、大きな声で応援でき盛り上がり。	沼南高校
-----------------------	--	------

【2020年オリンピック・パラリンピックの部】

<p>(テーマ) 地域からの 盛り上げ</p>	<p>(提案内容) 地域の特徴を生かした聖火リレーの受け入れ ○一宮商業 海からサーフィン会場地に聖火受け入れを ○幕張総合高校 幕張の「大空に五輪」「地上に五輪」でおもてなし 以上の提案を両校で統合し千葉県で聖火リレーを一宮から幕張にと提案 ① 沖合からサーフィンの会場地釣ヶ先海岸に向けて地元サーフィン業組合と協力し地元サーファー約 300 名が聖火を持ったサーファーを取り囲んで受け入れを行い、地域を挙げての聖火受け入れイベントを行う ② 一宮から飛行機で幕張へ ③ 幕張で行われている世界的な競技のエアレースで空に五輪マークを描いていただく ④ 学生合計2020人で、分け火した聖火を使って、五輪マークの火を使った人文字を作り、「地上に五輪」を作る ⑤ 人文字からボルタリングへ ⑥ ミッキーが聖火を運ぶ</p>	<p>一宮商業高校 幕張総合高校</p>
<p>(テーマ) おもてなし</p>	<p>(提案内容) 地震リーフレットを作ろう！ ～日本を訪れる旅行者に安心を～ ○リーフレットの記載内容 1. 地震の基礎知識（避難場所、持ち歩くべきもの） 2. 各場所における対処法（エレベーターの中、地下、電車など） 3. 東日本大震災に被災状況（実際の怖さを知ってもらう） 4. 災害用伝言ダイヤル（英語で使い方を） 文字よりもイラストを多くして、英語圏ではない方、小さな子どもにも分かりやすいリーフレットにする</p>	<p>佐倉高校 (Sのゆかいな仲間たち</p>
<p>(テーマ) 今からできるボランティア</p>	<p>やさしい日本語「誰でも」コミュニケーション！ (提案内容) 1. 事前に高校生ボランティアが、日本滞在中の各場面で役立つ「やさしい日本語カード」を作成する 2. 各会場で高校生がカードを配布しつつ、ガイドする 3. 「やさしい日本語」の普及活動をする (効果) 1. 日本語を国際語に！ 2. 国内在住に外国人にも役立つ 3. 外国人観客の緊急ニーズにこたえられる</p>	<p>松尾高校</p>

この他にも、素晴らしいアイデアが数多くありました。

生涯学習応援団ちばでは、この4つのアイデアに限らず、素晴らしいアイデアの数々を実現できるよう、今後、様々な方法でのサポートをしていきます。

フォーラムに参加いただいた皆さんに心より感謝します。